

協力2町の財政状況（歳出） について

令和5年8月7日

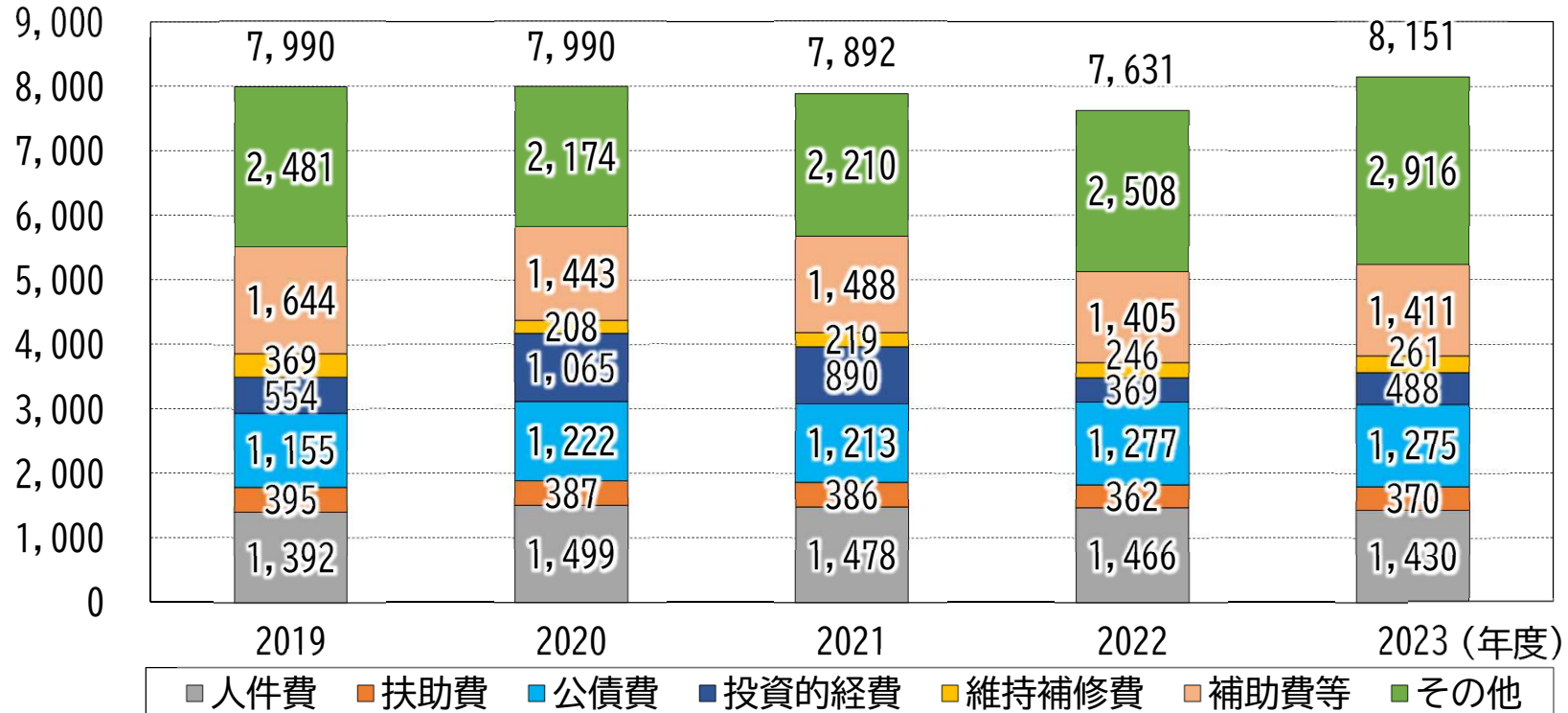
協力2町の財政状況（歳出）について

歳出の概要

【安芸太田町】

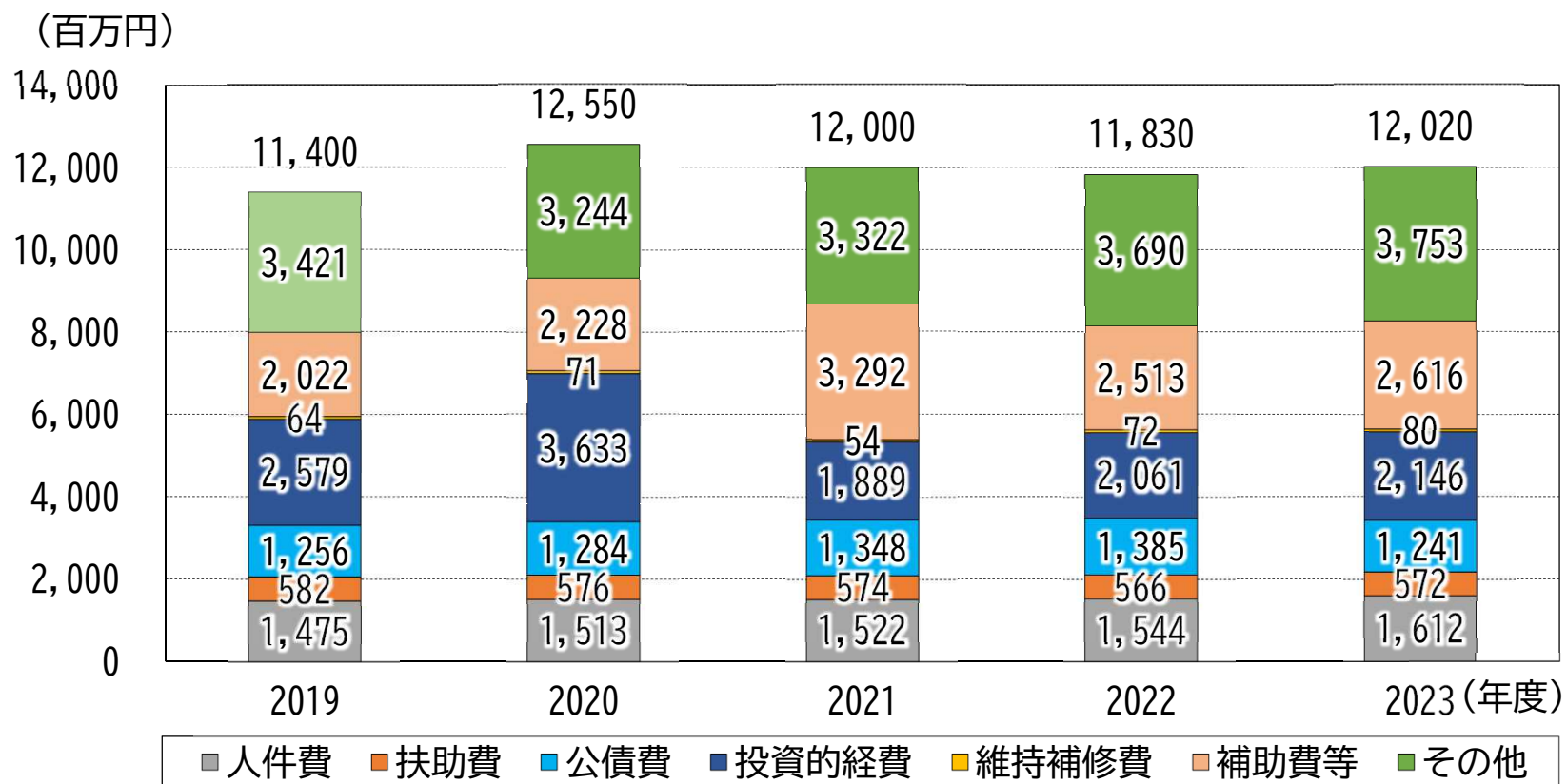
- 予算規模は80億円前後で推移している。扶助費等の福祉関連予算の拡大が見込まれる。
- 2023年度以降は投資的経費として道の駅の再整備等を実施している。財政的な制約から大規模なインフラ整備は難しくなりつつある。
- 特殊要因としてJR可部線跡の各種施設の管理や撤去等の予算が必要となっている。

(百万円)



【神石高原町】

- 予算規模は120億円前後で推移している。安芸太田町と同様に扶助費等の福祉関連予算の拡大が見込まれる。
- 2020年度～2022年度まで、投資的経費として町役場庁舎建設、町立病院建設等の大型事業を実施している。その期間に財政制約上実施が先延ばしされていた事業を今年は盛り込まれたため、120億円規模の予算となっているが、将来的には現状よりも歳出の抑制を図っていく方針である。



住民生活、地域活動に対する2町の歳出

【安芸太田町】

- 住民自治組織に対しては、町より人口割・世帯割等の算出基準を踏まえた支援金を約2,100万円提供しているほか、各種施設管理の指定管理料等を支払っている。
- 道路・橋梁の維持・更新にかかる予算が拡大する可能性がある。
- また、道路に関しては、道路の補修、冬季の除雪や夏季の沿線の草刈りなどに約1.6億円かかっている。
- JR可部線の関連施設（鉄橋）の解体・除却等を進めているが、負担感が高まっている。
- 情報通信設備に関しては、各種施設の更新に多額の予算がかかるため、民間事業者への設備の移譲による将来的な負担の軽減が検討されている。
- 地域公共交通では「あなたく」や「定額タクシー」等のサービスに加え民間事業者への支援等（合計約1.8億円）を行っており、免許返納者等が増えた場合、これら予算の拡大も予想される。

【神石高原町】

- 町道沿線の草刈りに対し道路維持対策事業として、町が協働支援センターに交付金として約4,300万円を交付し、協働支援センターから住民自治組織に、補助金として配分しており、その補助金が地域の活動資金となっている。
- なお、地区・集落での草刈りの担い手の減少が顕著であり、地区・集落で町道の草刈りが困難になった場合、民間事業者に依頼すると現在の数倍程度になり兼ねないこととなる。
- 道路・橋梁の維持・更新にかかる予算が拡大している。
- 地域公共交通ではタクシー助成等（約5,900万円）を行っており、この拡大が予想される。